

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
4-③	工業を振興する		産業振興部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
中小企業（製造業）の事業拡大に伴う設備投資に対する助成件数（累計）	件	6	8	8			16
工場の新規立地や増築に対する助成件数（累計）	件	10	15	18			31
関連事業							
○産学公共同研究支援事業○テクノフェア推進事業○企業立地等促進事業○波力発電関連分野での新産業創出促進事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	104,108						
執行率（％）	89.29						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●市内企業と大学との共同研究（3 件）に係る費用の一部を補助し、中小企業の技術力向上を図りました。 ●湘南ひらつかテクノフェアを 99 の企業・団体の参加により開催し、販路の拡大や企業間等の交流や商取引を促進しました。 ●企業が立地する際の施設や設備の整備、新規雇用に対する 6 件の事業承認を行い、助成を通じて、企業の誘致と流出防止、雇用機会の拡大を促進しました。 ●平塚海洋エネルギー研究会を発足し、波力発電実証実験に係る実行可能性調査や波力発電導入可能性調査を実施しました。また、研究会を通じた人材育成や情報共有プラットフォームを構築するとともに、会員提案のあったビジネスモデルについて、研究を開始しました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●企業間の交流や産学公の連携については、中小企業や大学等のニーズとシーズを結びつける「場」の充実を図る必要があります。 ●テクノフェアについて、市内外の関係機関と連携を図りながら、出展企業や団体を増やす必要があります。 ●企業のニーズに即した増築等の投資に対する助成制度を整備していく必要があります。 ●再生可能（海洋）エネルギーに関する実証実験等を通じて、新産業の創出を研究するとともに、市内企業の参画や人材育成を図る必要があります。	●企業間の交流や産学公の連携を促進するため、市内企業に勤務する技術者のイノベーションスクールなどを通じ、中小企業や大学等のニーズとシーズの把握するとともに、情報交換の機会を充実させます。 ●商取引の促進や技術交流の活性化のため、平塚商工会議所等と連携して出展者を募集するとともに、出展者や来場者のニーズの把握に努め、開催内容を充実します。 ●企業へのヒアリング等を通じ、経済環境・企業活動の変化に応じた制度の見直しや、工業用地の保全に向けた支援策を整備し、効果的な助成制度の周知を検討します。 ●新しいしごとのタネの創出や人材育成を図るため、平塚海洋エネルギー研究会を通じた技術課題や波力発電装置をシーズとした新産業創出のスキームを研究します。